

たつのを担う 人材サイクルの創設 ～地域人の協育を目指して～

同志社大学 田中宏樹ゼミ 3 回生

渡邊侑加 山口涼太 森彩美

太刀川未来 西岡大凱

たつのも市

土肥原英哲 荒谷智広 西田千夏

目次

- 1 現状分析
- 2 問題設定
- 3 私たちの考え
- 4 提言における
具体的方向性
- 5 地域人「協育」
実現のための政策提言
- 6 残された課題
- 7 参考文献
参考資料

1. 現状分析

・学級数が少ない

たつの市内小学校児童数（2019）

			1年	2年	3年	4年	5年	6年	複式	特別支援 学級	計
龍野地区	龍野小	児童数	42	42	39	42	36	37		(14)	238
		学級数	2	2	2	2	1	1		3	13
	小宅小	児童数	162	150	162	141	172	149		(34)	936
		学級数	5	5	5	4	5	4		8	36
	揖西東小	児童数	33	48	36	48	60	41		(11)	266
		学級数	1	2	1	2	2	1		3	12
	揖西西小	児童数	52	46	49	42	66	50		(18)	305
		学級数	2	2	2	2	2	2		3	15
	揖保小	児童数	30	35	33	35	31	32		(6)	196
		学級数	1	1	1	1	1	1		3	9
	誉田小	児童数	31	20	29	27	15	33		(7)	155
		学級数	1	1	1	1	1	1		3	9
	神岡小	児童数	38	36	46	45	34	46		(6)	245
		学級数	2	1	2	2	1	2		3	13

・ 1クラスだとクラス替えもできない

たつの市内小学校児童数（2019）

			1年	2年	3年	4年	5年	6年	複式	特別支援 学級	計
新宮地区	西栗栖小	児童数	9	7	7	2	10	11		(1)	46
		学級数	1	1	1			1	11		6
	東栗栖小	児童数	17	11	17	12	15	10		(7)	82
		学級数	1	1	1	1	1	1	1		7
	香島小	児童数	10	9	12	16	20	12		(4)	79
		学級数	1	1	1	1	1	1	2		8
	新宮小	児童数	37	36	42	33	29	32		(5)	209
		学級数	2	2	2	1	1	1	2		11
	越部小	児童数	28	21	25	25	33	29		(4)	161
		学級数	1	1	1	1	1	1	2		8

・ 中学校は5校のみ

たつの市内中学校生徒数（2019）

			1年	2年	3年	複式	特別支 援学級	計
龍野地区	龍野東中	生徒数	180	208	214		(12)	602
		学級数	5	6	6		2	19
	龍野西中	生徒数	151	160	161		(14)	472
		学級数	4	4	4		2	14
新宮地区	新宮中	生徒数	99	100	122		(7)	321
		学級数	3	3	3		3	12
揖保川地区	揖保川中	生徒数	113	102	110		(5)	325
		学級数	3	3	3		3	12
御津地区	御津中	生徒数	71	92	84		(4)	247
		学級数	2	3	3		2	10
	計	児童数	614	662	691		(42)	1,967
		学級数	17	19	19	0	10	63

() 内数字については再掲

たつの市立中学校進学状況

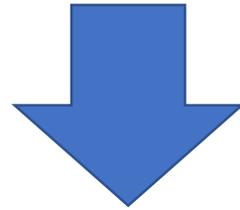
市外進学者の割合が大きい

単位：人

区 分	H28年3月 卒業 (H27年度)	H29年3月 卒業 (H28年度)	H30年3月 卒業 (H29年度)	H31年3月 卒業 (H30年度)	R2年3月 卒業 (R1年度)	合計
卒業生徒数	780	778	744	708	763	3,773
高等学校等進学者	768	773	737	703	752	3,733
市内進学者生徒数	208	192	187	204	176	967
市外進学者生徒数	560	581	550	499	576	2,766
	市内進学者	市内進学者	市内進学者	市内進学者	市内進学者	
	27.0%	24.8%	25.3%	29.0%	23.4%	
	市外進学者	市外進学者	市外進学者	市外進学者	市外進学者	
	72.9%	75.1%	74.6%	70.9%	76.5%	

2. 問題設定

たつの市内の児童・生徒数の減少



若者を地域に定着させる**地域人教育**の必要性

3. 私たちの考え

こども達に**地域への愛着**と社会での課題解決能力を
身に付けてもらい**将来を地元で過ごすビジョン**を描
いてもらう

→地域・学校・家庭の三者が連携した教育が必要

政策手段

地域人「協育」

•地域人協育とは

→その地域に対する
当事者意識と愛着を
持った人材を
地域・家庭・学校が
「協育」すること。



たつの市がなぜ地域人協育の実践の場に向いているのか

- 地域一体となって地域人協育を行う
 - 住民全体が当事者意識を持つ
 - 長期的な人材サイクルを行うことが可能
 - たつの市の課題解決につながる！

• たつの市には地域人協育を行うための潜在要素がある



この研究発表のために以下の方々にインタビューで
お話を伺いました

こども夢未来応援塾 指導員 田中さん
たつの市立新宮小学校 主幹教諭 石堂先生
たつの市役所企画財務部企画課 篠田さん
龍野北高校 生徒会長 栗間さん
ボランティア部顧問 福井先生
進路指導担当 篠原先生

地域人協育に必要な要素



ヒト



モノ



コト

→そこから生まれる体験と出会い

体験学習の重要性

体験を通じた地域理解

自分の足で動き自分の頭で考える経験

- ・自分の見ている世界そのものの見方が変わる（実態と説得力）
- ・自分たちの手で作り上げることでやりがいになる

地域が好きで何をしたいと思うか

地域への愛着
地元へ帰りたくなる
動機

・聞いたことは忘れるし見たことは覚えているが、**体験したことは身につく**→生涯学習として、生きていく力を身に着けるために**できることは知っているで終わらせず、実際にやってみる**

ほかにも…

- 豊かな自然（田んぼ、揖保川など）
- 長い歴史の文化（龍野伝統的建造物群保存地区など）
- 盛んな地場産業（そうめん、皮革製品、醤油など）

地にあるものを利用した体験・教育

→心に残る記憶

→地域への愛着へ

現在たつの市ではどのような
地域人教育が行われているのか

たつの市で行われている地域人教育

小学校 ふるさと学習

中学校 トライやるウィーク

こども夢未来応援塾

現状のたつの市地域人教育の課題

- ・ 継続性がない

→ 即効性はなく ある程度の時間が必要 であるがイベント型のように短期間での実施になっている



- ・ 潜行している人材が未発掘

→ 熱意のある優秀な人材という **地域資源** を活用できていない

→ 未来塾などの指導者が不足している要因

4. 提言における具体的方向性

将来たつの市に住み続けてもらう
一度出て行ったとしても戻ってきてもらうためには
愛着と当事者意識を高めることが重要

政策手段

家庭 × 学校 × 地域

三者が連携した協育をおこなう

5. 地域人「協育」実現のための の 政策提言

小中高一貫の地域人教育

パイロットCS及びチェーン
ンスクールの導入

- 三者が連携できる土壌
の整備

小 中

子ども夢未来応援塾の活
性化

- 子どもに体験学習の機
会の提供

小 中

高校3年間の教育プログ
ラム+逆求人

- 人材供給の拠点づくり

高

なぜ小中高一貫の地域人教育なのか？

年齢を重ねても、より長く・深く、
地域に関わる学習をすることで、
地域理解と**愛着**を深めることができる。



政策提言1

パイロットCSおよび
チェーンスクールの実施
(小中学校)

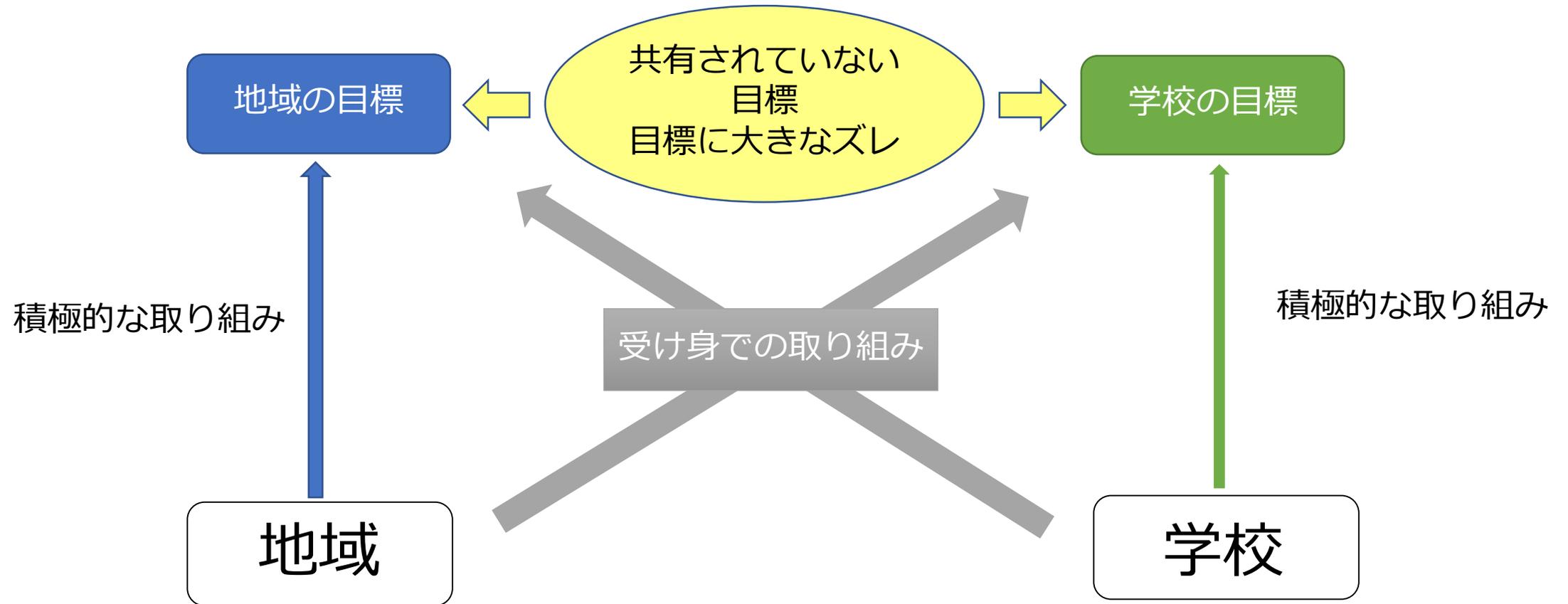
コミュニティースクールとは？

学校運営協議会を
設置した学校のこと

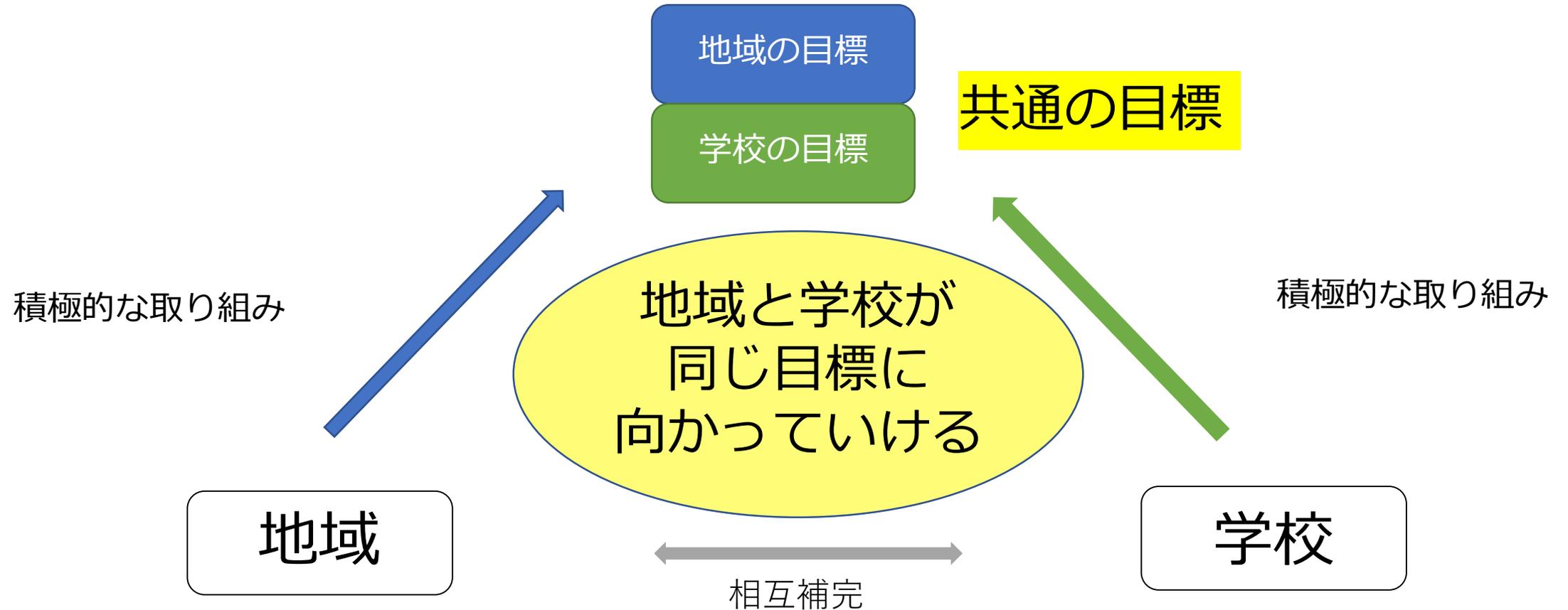
学校運営協議会では、選ばれた委員が一定の権限と責任を持って学校運営について協議する



先行事例（大阪府能勢町） これまでの学校と地域との関係



先行事例（大阪府能勢町） コミュニティースクール導入後



先行事例（長野県飯田市）

国型のように職員任用への
意見具申があるとCSを導入する
のを**教員から反対されやすい**



飯田型のように職員任用への
意見具申がないと**教員からの
反対が減り、CSを導入しやすい**

コミュニティースクール

	国型	飯田型
学校運営方針 の承認	●	●
職員任用への 意見具申	●	—
学校評価	—	●
学校支援	—	●
学運協への公 民館長の関わり	—	●

政策提言

新宮地域の小中学校に試験的なパイロットCS導入 形骸化の恐れがある→3つの対策

1

学校と家庭・地域の
相互承認評価を実施

手段

✓定期的に家庭、
地域住民に
アンケートを行う

2

職員任用への
意見具申をしない

メリット

✓CSへの教員の
反対が減り
導入しやすくなる

3

ふるさと教員
(市費負担教職
員)の導入

メリット

✓人事異動を制限して
1つの学校に根付く
ふるさと教員がいる
ことでCSの機能向上

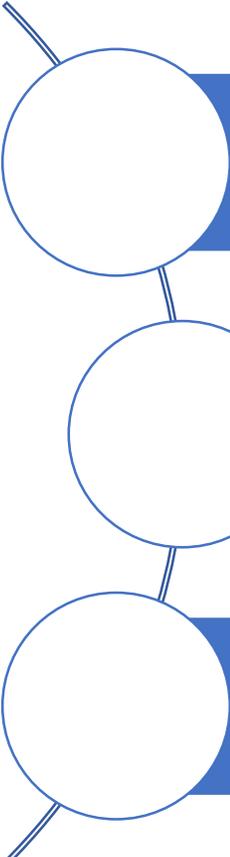
新宮パイロットCSからたつの市全域CS化へ

新宮で成功事例を打ち出す

市民全体が地域人教育の必要性を感じてもらう

たつの市全体にCSの整備

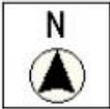
なぜ新宮地域からはじめるのか



- ・ 地域人教育に携わる人材が豊富である

- ・ 小学校の統廃合が検討されている

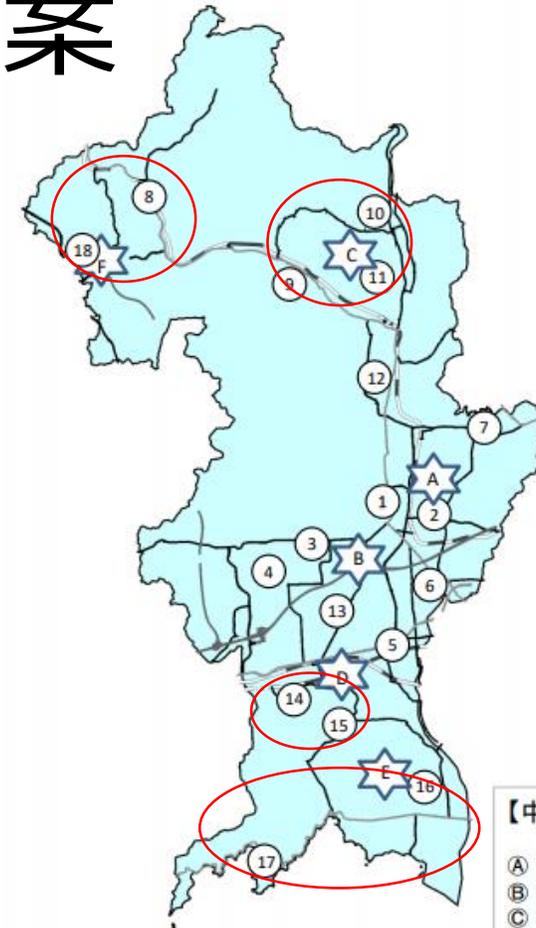
- ・ 提言を行う龍野北高校が近くにある



市内小学校・中学校の配置図

適正規模・適正配置推進計画案 地域

新宮地域：東栗栖小学校
香島小学校 新宮小学校
揖保川地域：神部小学校 河内小学校
御津地域：御津小学校 室津小学校
西栗栖小学校 播磨高原東小学校



- 【小学校】
- ① 龍野小学校
 - ② 小宅小学校
 - ③ 揖西東小学校
 - ④ 揖西西小学校
 - ⑤ 揖保小学校
 - ⑥ 誉田小学校
 - ⑦ 神岡小学校
 - ⑧ 西栗栖小学校
 - ⑨ 東栗栖小学校
 - ⑩ 香島小学校
 - ⑪ 新宮小学校
 - ⑫ 越部小学校
 - ⑬ 半田小学校
 - ⑭ 神部小学校
 - ⑮ 河内小学校
 - ⑯ 御津小学校
 - ⑰ 室津小学校

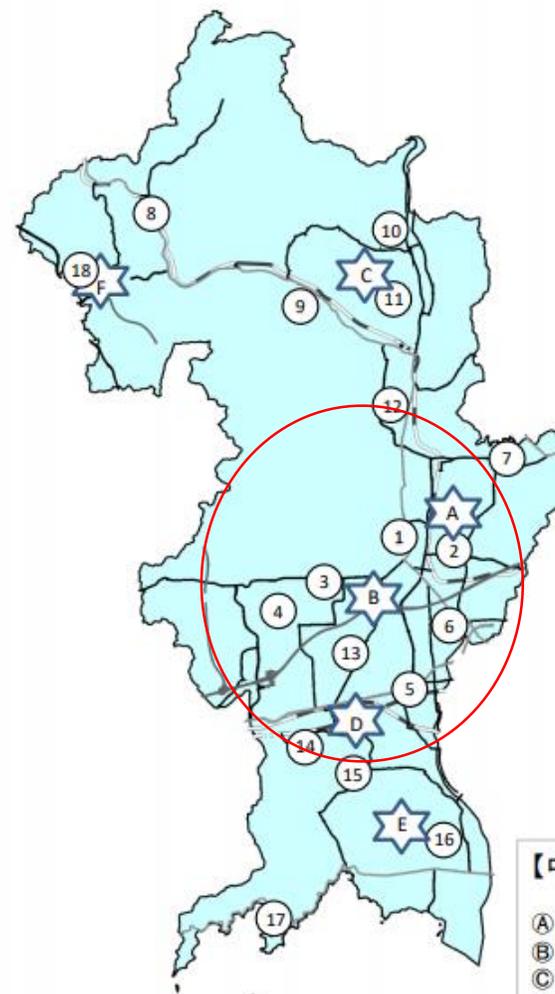
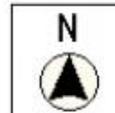
- 【中学校】(通学する小学校)
- A 龍野東中学校 (②⑥⑦)
 - B 龍野西中学校 (①③④⑤)
 - C 新宮中学校 (⑧⑨⑩⑪⑫)
 - D 揖保川中学校 (⑬⑭⑮)
 - E 御津中学校 (⑯⑰)

- 播磨高原広域事務組合立
【小学校・中学校】(通学する小学校)
- ⑱ 播磨高原東小学校
 - ⑲ 播磨高原東中学校 (⑱⑳)

適正規模・適正配置推進計画案 外の地域

中心部は小規模校が多数存在
→CSの代わりに近隣の学校で
チェーンスクールの導入

市内小学校・中学校の配置図



【小学校】

- ① 龍野小学校
- ② 小宅小学校
- ③ 揖西東小学校
- ④ 揖西西小学校
- ⑤ 揖保小学校
- ⑥ 菅田小学校
- ⑦ 神岡小学校
- ⑧ 西栗栖小学校
- ⑨ 東栗栖小学校
- ⑩ 香島小学校
- ⑪ 新宮小学校
- ⑫ 越部小学校
- ⑬ 半田小学校
- ⑭ 神部小学校
- ⑮ 河内小学校
- ⑯ 御津小学校
- ⑰ 室津小学校

【中学校】(通学する小学校)

- A 龍野東中学校 (②⑥⑦)
- B 龍野西中学校 (①③④⑤)
- C 新宮中学校 (⑧⑨⑩⑪⑫)
- D 揖保川中学校 (⑬⑭⑮)
- E 御津中学校 (⑯⑰)

播磨高原広域事務組合立 【小学校・中学校】(通学する小学校)

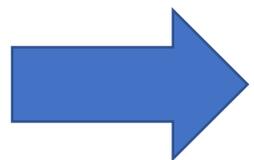
- ⑱ 播磨高原東小学校
- ⑲ 播磨高原東中学校 (⑱⑱)

チェーンスクールとは

チェーンスクール

複数の小規模校をチェーンで結び、各学校の人的・物的資源を相互に活用しながら多様な学びを保障する、経済効率性と教育多様性を同時に追求した学校間連携

例) 徳島県では少子化により小規模校の増加



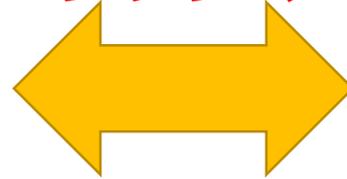
統廃合が必要

小規模校の統廃合が必要

- ・ 子供の集団活動や教員の確保が困難
- ・ 教育予算の重点的投入が困難



ジレンマ



小規模校維持したい

- ・ コミュニティ活力である学校をなくせば過疎化がさらに進む
- ・ 地理的な要因で統廃合できない

チェーンスクール導入

結果（メリット）

- ✓ 小規模校を維持したまま人的・物的資源相互活用
- ✓ 財政負担をかけずに教育の向上を行える

学校間ネットワーク

①教員

教科の専門性を活かした教員の巡回指導システム

時間割を週単位ではなく複数週で行う（時間割調整）

→2週に1度の教員の巡回で担当校の指導が可能になる

②児童生徒

合同の学習活動、研究発表、運動会、修学旅行など

→多様な関係構築、コミュニケーションの機会が増える

③学校運営

統括校長制度の導入

センター校のみに校長を導入し、サテライト校に副校長、教頭を配置

→コスト削減

政策提言2

子ども夢未来応援塾の活性化 (小中学校)

子ども夢未来応援塾の現状

①地域差が生じている

- たつの市小学校17校中実施されているのは5校
 - 市の職員が不足している・行政主導（未来塾に一人は職員を配置しなければならない）
 - 場所と担い手が不足している（未来塾に対する地域の温度差）

②ペーパー学習がメイン

- 地域に関連した体験学習が少ない。

子ども未来応援塾の現状

教員役地域指導員の人数

	H28	H29	H30	R01
揖保公民館	2	6	3	6
(対象：揖保小学校 4～6年生)	(1)	(6)	(6)	(6)
西栗栖コミュニティセンター			4	7
(対象：西栗栖・播磨高原東小学校 4～6年生)			(4)	(5)
香島コミュニティセンター			5	4
(対象：香島小学校 1～6年生)			(4)	(5)
半田コミュニティセンター			1	6
(対象：半田小学校 4～6年生)			(6)	(5)
御津公民館			3	5
(対象：小学校 4～6年生)			(5)	(5)

() 内は実施回数

指導員一人当たりの受け持ち児童数

	H28	H29	H30	R01
揖保公民館	6.5	5.7	30.0	12.2
(対象：揖保小学校4～6年生)	(1)	(6)	(6)	
西栗栖コミュニティセンター			13.0	11.3
(対象：西栗栖・播磨高原東小学校4～6年生)			(4)	
香島コミュニティセンター			7.4	12.8
(対象：香島小学校1～6年生)			(4)	
半田コミュニティセンター			99.0	12.2
(対象：半田小学校4～6年生)			(6)	
御津公民館			15.3	17.6
(対象：小学校4～6年生)			(5)	
5地域平均				13.2

5地域での支援員の負担は改善されているが、今後この指導員一人当たりの負担率を維持しつつ残りの12校の小学校で未来塾を実施となると指導員を増員する必要がある。

子ども夢未来応援塾の現状(つづき)

地域コーディネーターとは：
地域と学校をつなぎ、地域活動をアレンジする役割

	地域コーディネーター数
相生市教育委員会	3
赤穂市教育委員会	4
たつの市教育委員会	1
上郡町教育委員会	3

たつの市は地域
コーディネーター
を市の職員が兼任
している

他の市に比べて地域
コーディネーターの
数が少ない

現状たつの市に地域学校協働活動推進員は0人
(役割は地域コーディネーターと同じ、自治体から委嘱を受ける)

子ども夢未来応援塾 導入①

ふるさと教員の採用と
地域学校協働活動推進員
の拡充



なぜ？

- ・ 潜在的な地域の熱意のある人材（地域指導員）のリクルートにもつながる
- ・ 担い手と場所不足を解消し、地域差がなくなる

子ども未来塾の活性化 導入②

未来塾 × 市内企業

たつの未来キャリアラボ

子ども未来塾の活性化（つづき）

概要

- ・ 新宮地域の未来塾からスタート
- ・ 主に中学生を対象
- ・ 市内企業と連携した中学生向け企業説明会
- ・ 子どもに地元の企業を知る機会の提供



子ども未来塾の活性化（つづき）

メリット

中学時代から地元企業を知る機会を設ける
→キャリア教育と地元への刷り込み教育になる

企業という担い手の確保
→小学生向きに**体験学習**を行う未来塾の開催が
視野に入れられる

翌年以降に参加企業の増加の可能性

(cf) 長野県伊那市



政策提言3

高校3年間のプログラム + 逆求人
(高校)

高校は、将来の**人材供給拠点**として重要

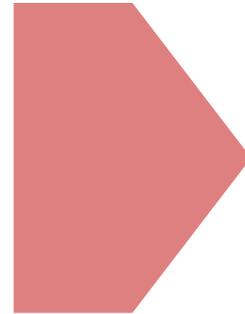
高校時代までの間に
地元企業を知っていた若者



出身市町村へのUターンを
希望する割合が高い傾向



自らの地域を知ることが
人材確保につながる



高校の段階で
地域を知り、
親しむ機会を創出
することが重要



政策提言 (高校)

・普通科高校でない**龍野北高校**に向けた
提言

①高校3年間の教育プログラム

→高校を通してたつの市地域について知り、地域課題解決力を身に着ける

②逆求人

→市内企業から学生個人に向けて求人

① 高校地域人教育のカリキュラム

1年

- 地域を知る ex) 地域に関する講演、現地で学ぶ

2年

- 地域で活動する ex) 商品開発、地域イベントへの参加

3年

- 地域の課題解決力を高める ex) 市への政策提言

② 逆求人

本来の逆求人



学生

自分の情報を登録



求人



専用サイト

情報提供



求人のおファー



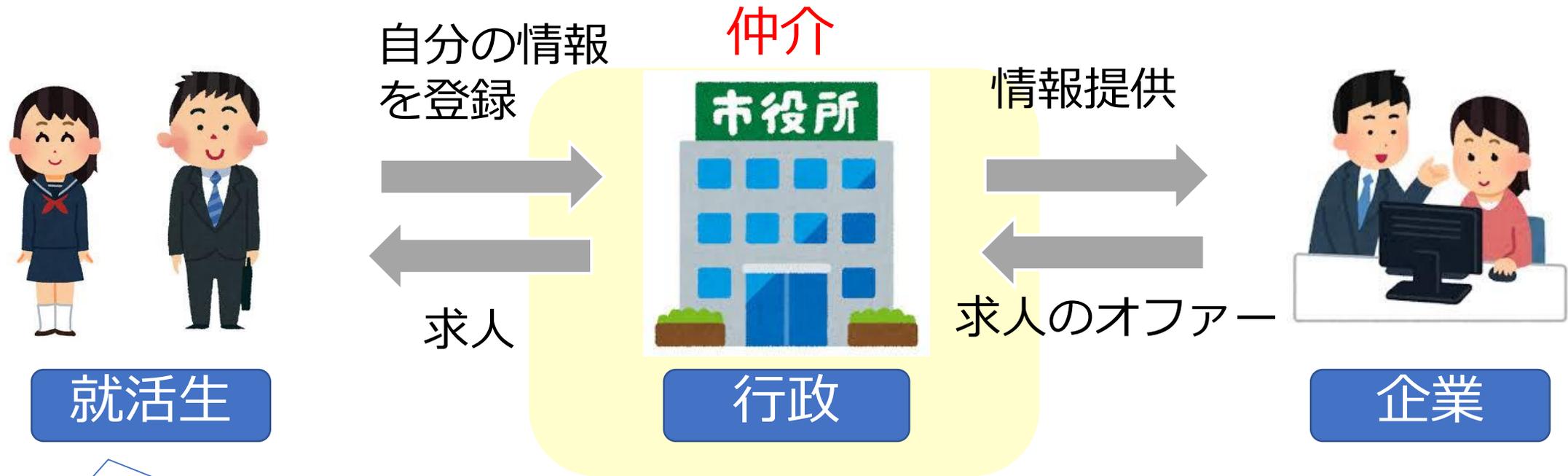
企業



たつの版逆求人では
専用サイトの役割を行政が担う

②逆求人（つづき）

たつの版の逆求人



- 市内の就活高校生
- 市内高校出身の就活大学生
- 在学生だけでなく、大学卒業後の市内企業を希望する人（第2新卒等）

②逆求人（つづき）

メリット

- ・行政が間に入ることによって、顔の見えない学生と企業間の不安感を払拭
- ・行政で一度情報を集約することで、アクセスの円滑化
- ・たつの市の企業PR、認知向上の場となる
- ・「逆求人」を行うことで、キャリアラボ未経験の学生にも市内企業について知る機会が生まれる。

本提言の流れ

地域への愛着を高め、当事者意識を醸成



家庭—学校—地域が連携した地域人の協育



たつの再生を担う人材サイクルの育成

6. 残された課題

コミュニティスクール

- ・ 教師の負担増加
- ・ 「地域」の捉えかたによって地域活性化に対する意識の差

未来塾

- ・ キャリアラボの参加企業を募るとして十分な参加はあるのか
- ・ 地域指導員がボランティアであれば、児童が怪我を負った時などの責任の所在はどこにあるのか
- ・ 人材還流（U I ターン）の対策をどうするべきか

7. 参考文献 参考資料

2019 「令和元年たつの市 統計書」 p12、 p 13

2019 「たつの市立小、中学校の適正規模・適正配置基本方針」

2019 総務省 「住民基本台帳人口移動報告」

2014 (諸星) 「持続可能な地域発展と住民自治組織」

P 86- p 89

2014 (阿形) 「人口減少社会に対応した学校教育の在り方に関する考察」 p 137- p 139

参考文献 参考資料（つづき）

能勢ささゆり学園コミュニティースクールだより

<http://www.town.nose.osaka.jp/material/files/group/32/20200806.pdf>

コミュニティースクール

<http://www.town.nose.osaka.jp/material/files/group/32/CSsetumeikaisiryou.pdf>

- ・令和元年版たつの市統計書

(<https://www.city.tatsuno.lg.jp/jouhousuishin/documents/reiwatoukei-fullpage.pdf>)

- ・たつの市人口ビジョン

(<https://www.city.tatsuno.lg.jp/kikaku/documents/jinkouvision.pdf>)